



2026 年 7 月 10 日発行

社会福祉法人 龍鳳ライフパートナーこぶし
〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-19
TEL:042-470-2385 FAX:042-470-2386
清瀬事業所/ふわっとん
〒204-0013 清瀬市上清戸 1-15-18
TEL&FAX:042-497-9481
<https://www.fukushiryuhoh.or.jp/kobushi/>

美味しいコーヒーにニッコ
リ笑顔♪



主任相談支援専門員
佐藤 幸雄

いそがしくて、
ありがたい

障害者の相談支援専門員として働く日々は、まさに時間との戦いです。朝から晩まで、利用者の方々と面談、電話連絡に一日かかる時もあります。関係機関との調整、書類作成に追われ、息つく暇ありません。時には予期せぬ緊急対応に奔走することもあり、心身ともに疲弊することも少なくありません。しかし、この仕事には、何物にも代えがたい大きなやりがいがあります。

この仕事の醍醐味は、何と言っても多様な人々との出会いです。様々な背景を持つ利用者の方々、彼らを支えるご家族、そして地域で活動する多職種の方々。一人ひとりの人生に触れ、その物語に耳を傾ける時間は、私自身の視野を広げ、人間としての深みを増してくれます。利用者の方々が抱える悩みや希望をじっくりと聞き、共感し、時には共に感動することさえあります。

利用者の方々がより良い生活を送るために、私たちは常に最新の情報を提供できるよう努めています。利用できるサービス、支援制度、地域の資源など、多岐にわたる情報を整理し、個々のニーズに合わせて提案します。自分の仕事がかの人生に良い影響を与えていることを実感し、大きな達成感に包まれた時には忙しさも忘れてしまいます。

相談は、単に困り事を解決するだけではなくありません。相談者の方々の好きなことや、最近あった楽しい出来事などを共有する時間も大切にしています。こんなエピソード

があります。他の事業所の相談員と何気ない会話の中で、利用者の方が野球を観るのも、するのも好きな方がいて、でも野球は一人では出来ないで誰か一緒にやってくれる人はいないかとの話題になりました。

私は野球を趣味でやっているのですが、考えたことも頭になかったのですが、野球をしたという利用者の方と出合ってから、キャッチボールをした時に、とても嬉しそうにボールを投げて、野球選手に憧れているのだと言います。小学校から中学校まで野球をやっていたようでしたが、その後は一緒にやってくれる人もいなかったのが10年ぶりとのことでした。私はその利用者の方の野球に対する情熱と素質に心を打たれ、もっと野球を教えてあげたいと思いました。

その後も連絡を取り合っていて、私の所属する野球チームの試合に来て、練習をしたのですが、満面の笑みで喜んでくれました。このような仕事をさせてもらって、私はとても有難いと思っています。未来を共に歩める機会に感謝し、利用者の方々のより良い生活や自分らしく生きるサポートを今後も続けていきたいと思っています。



♪活動紹介♪ ～ゴミ拾い&公園清掃♪～

①ボランティア活動として、事業所周辺のゴミ拾いを始めました！
トングを使って小さなゴミも拾っています



②受託作業として、地域の公園清掃を行っています！
ハサミを使って切り戻し作業に挑戦しています



ねえねえ、きいて



生活支援員 前川 慈弦

いつも元気よく話してくださるKさん。ある日出勤した際、私の声がかすれてしまい、そのことを心配してくださったのか、喉を指さして「大丈夫？」と声をかけてくださいました！そのおかげですぐに声が治りました！ありがとうございます！



キラリ☆と光るこの一枚



おやつ会の手作りクレープは格別です！
(石澤 泉)

AI と EQ とわたし

AI は日進月歩で、世界中の AI の開発企業は次々と新しいモデルや併用するとコストダウン出来るサービスなどが生まれ、先週トップだったモデルが翌週には追い抜かれる状態で、最新の情報を全て追うことは不可能です。最終的には全て AI に投げるプロンプト(指示)やコンテキスト(背景情報)さえ AI に考えさせる方が精度の高い解答が得られるそうです。その為の言葉を選び組み立てる言語化能力と提示された解答を精査する人間力が問われるとの事。

そこで必要なのは感情をもたない AI と補完関係にある EQ(感情知能)です。それは人間的スキルで感情や言葉のニュアンス多種多様な価値観を感じ取り、TPO に合わせた文脈で関係調整をする能力があって初めて AI を有効活用出来るようです。

日々の変化への適応力も含め不安やストレスを自己管理で処理し前向きに業務をこなすために、私自身が持つ OCD や HSP の強みと弱みも受け入れ、EQ は向上させられる能力ですから少しずつ精進します。

生活支援員 椎名 恵子

フォトニュース ～6月の様子～

♪活動・余暇♪

♪日帰り旅行♪



次の通りご寄付をいただきました。

・ライフパートナーこぶし保護者会様

240,000 円

頂いたご寄付は大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



「フードドライブ」へのご協力ありがとうございました！

ご寄贈いただいた食品等は「おかえりパントリーたまご」で活用されます。



★ボランティアのお知らせ★

こぶしボランティア担当の近藤です！

このページを借りてボランティアの告知をさせていただきます！

利用者の皆さんが毎日楽しく、笑顔で過ごせるよう、多様なレクリエーション・行事・余暇などを実施しています！

一緒に利用者の皆さんと楽しい時間を過ごして下さるボランティアの方を募集しています！

「人とかわわるのが好き」「福祉に興味がある」「誰かの役に立ちたい」

そんな気持ちがあれば大歓迎です！！

ぜひ興味のある方はライフパートナーこぶしボランティア担当：近藤までご連絡ください！！

【連絡先】メール：kobushi@fukushiryuhoh.or.jp 電話：042-470-2385



障害福祉の未来 ～地域とともに歩むために～

梅雨の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より利用者支援においてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

近年、障害福祉を取り巻く環境は大きく変化しています。利用者さんの高齢化や障害の重度化、多様化するニーズへの対応など、私たちに求められる役割はますます広がっています。その一方で、障害のある方が地域の中で自分らしく暮らし、社会とのつながりを持ちながら生活できる環境づくりへの期待も高まっています。

私たちは、障害福祉の本質は「支援を提供すること」だけではなく、一人ひとりの思いや願いに寄り添い、その人らしい人生を支えることに考えています。利用者の皆さまが安心して生活できることはもちろん、挑戦したいことや実現したい目標に向かって歩んでいけるよう支援していくことも大切な役割です。

また、障害福祉の未来を考えるうえで欠かせないのが地域とのつながりです。福祉サービスだけで完結するのではなく、ご家族や地域住民、関係機関、企業など多くの方々との連携によって、より豊かな暮らしが実現できると考えています。誰もが支え合いながら暮らせる地域社会を築くことは、障害福祉に携わる私たちの大切な使命でもあります。

障害のある方を取り巻く環境は、今後も変化を続けていくことが予想されます。しかし、そのような中であっても、私たちは一人ひとりの尊厳を大切にし、安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献していきたいと考えています。利用者の皆さまやご家族が将来にわたり安心して生活できるよう、地域との連携を深めながら支援の充実に努めてまいります。

社会環境が変化する中、福祉の現場にも新しい技術や仕組みが取り入れられています。しかし、それほど時代が変わっても、人と人とのつながりや信頼関係の大切さは変わりません。私たちはこれからも利用者の皆さまの声に耳を傾け、ご家族や地域の皆さまと力を合わせながら、より良い支援の実現に努めてまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日中活動支援部 部長 土橋 龍介



新しいことへの挑戦

今年度は新しく行事課の課長を任され、準備期間を合わせると3月からですが、4月より入職式・お花見会と昨年とは比べ物にならないくらい慌ただしく動いていました。4月を越え、ようやくひと段落かと思いきや、すでに夕涼み会やこぶし祭りの準備に取り掛かっています。

今年の行事は新しいことへの挑戦が多いと思われます。企画段階でも、前年度の課長から引き継ぎをもらったことが通じなくなっていることが多く、新しく練り直していることがたくさん出てきます。私は新しいもの・ことがあまり好きではないのですが…そう言ってもいられず。行事課の課員達とコミュニケーションを取りながら、利用者さんへどうやったら楽しいと感じてもらえる行事を提供することが出来るのか…と、日々考えながら行事企画を練っております。

だからこそ、昨年と違うということが出てくるかもしれませんが、その背景では行事課が努力していることを少しでも知っていただけたら嬉しく思います。

生活支援員 佐藤 里胡